
光の世界

藤森優斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光の世界

【Nコード】

N5684K

【作者名】

藤森優斗

【あらすじ】

『World peace orchestra』からそんなに経ってないけど、今の自分が世界と生命に向けるささやかなラブライターです。ずっとですが、今回も歌詞として書いたものです。メロディーなんてついてないんですけど……。ガキの落書きだと思って読んでください。

World、Wonder、World

「明日は晴れます」そんな事どうでもいい

今、僕が気にしているのは信じもしない占いのランキング

「素直になりなさい」そんな事言われたくない

今、僕が探しているのは裏切られない為の裏切り方

テレビがなんか喋ってるぜ 俺に向けた言葉じゃない

アイツがなんか喋ってるぜ 俺に向けた言葉だとしても

聞く耳持たず振り、また寝たふり

『不思議』それが魔法

暮れ、明日を迎える意味をくれ

ワンダーワールド、ワンダーランド

もう喋んな、眠れねえ、眠れねえ、振り……。

「セツナイ恋うた」そんな歌には飽きたんだよ

今、世界が聴きたいのは生命を肯定してくれるラブソングだ

テレビがなんか喋ってるぜ

そのニュース、本当に今の世界に必要なか？

魔法にかけられた世界から

平和を唱える生命への

何世紀もの想いを込めたレクイエムだ

『不思議』漂う世界に

礼、明日を裏切る背中、無礼

嫌。怖くても、魔法にかけられた世界に立つ

『不思議』それが魔法

暮れ、明日を迎える意味をくれ

ワンダーワールド、ワンダーランド

黙って吸え、呼吸を、呼吸の、振り……。

魔法にかけられた世界へ

平和を唱える生命からの

何世紀もの想いを込めたラブソングだ

天国アルバイト

サボらず頑張ってやってんだろ 『人間』 っていう仕事をさ
毛布に包まっても、手首切っても 僕は僕なりに頑張ってたんだろ

焦って生きる程急いでないし 立ち止まっている訳でもない

愚痴ばかり垂らしても、血を流して 僕は僕なりに頑張ってたんだろ

居心地が悪い世界だね 体調なんて毎日最悪だよ

どうにかしたいって思っても

どうにもならないって分かってんだ

ダメでも頑張ってやってんだろ 『人間』 っていう仕事をさ

苦しい思いをして、手首を切って それに似合う給料はないだろ？

居心地が悪い世界だね 体調なんて毎日最悪だよ

死んでみたいって思うんだ

そう、思ってるだけさ……。

皆ご存知の通り、天国はバイト募集中です
皆ご存知の通り、天国は人手不足なのです

僕達は何処で働けばいいのだろう

忙しい毎日だ。『人間』 っていうのは大変だな

それでも、僕は僕なりに頑張ってたんだろ

愚痴を垂らして、血を流して

いつか宣告される『クビ』を待とう

サボりながらも、汗を流して

いつか宣告される『クヮ』を待つ

Rock Day

どうにかしなきゃならねえ、って皆だって分かってんだろ？
でも誰かがやってくれんだろ、って皆ずっと思ってる？

だったら、僕がやってあげる
僕がこの国を背負うよ
だから皆、黙って僕に従えよ

何すればいいかわかんねえ、って皆だって思ってるんだろ？
でも誰かやってくれんだろ、って皆やっぱり思ってるんだろ？

だったら、僕がやってあげる
今から僕が王様だよ
だから皆、頼むから、一人にしてくれ……。

優しい世界なんだ
狂った原因は隠してくれる
優しい世界なんだ
病の治し方も隠してくれる

なんとかしなきゃならねえ、って皆だって思ってるんだろ？
でもなんともならねえ、って事、皆ずっと分かってんだろ？

だったら、僕がやってあげる
ロックが世界を壊せる様に
だから皆、詩の意味を知ってくれ

こんなもんじゃないんだよ

世界、僕がやってあげる
こんなもんじゃないんだよ
世界、皆がやる気出せばいい

生命のみぞ知る世界

『神様』なんて幻は誰も見た事がない
得体の知れない者に僕等は縋るんだ
『運命』なんて幻は誰も見た事がない
奇跡的な地球に生きる僕等なのだから

『世界』とは『地球』という意味ではない
『世間』とは『世界』という意味ではない

それなら『世界』とは一体何なんだ？
僕を取り巻く景色は間違いなく『僕の世界』なのに

同じ星に生まれた生き物ですから
これからも仲良くしましょう
それが『平和』ってやつでしょ？
その『平和』の中に『世界』は無い

『人様』という存在は悪者とされてきた
『神様』という幻を作り出したのは人だから

『世界』とは『綺麗』という意味ではない
『人様』とは『綺麗』という意味ではない

僕を取り巻く景色は綺麗だけど『僕の世界』じゃない

誰かが『神様』なんて産んだから、僕等は怯えて生きるんだ
誰かが『人様』なんて産んだから、生物は怯えて生きるんだ

誰のみぞ知る世界？

『世界』とは『彼女』という意味ではない
『僕等』とは『世界』という意味ではない

同じ星に生まれた生き物ですから
これからも仲良くしましょう

『神様』が僕等を纏めるんだろ？
それはただの宗教だよ

『平和』とは『綺麗』という意味ではない
『神様』とは『生物』という意味ではない

生命不平等

味気無い日々には飽きたんだ 休息の無い日々には疲れたんだ
花になれたらいいのにな 鳥になれたらいいのにな

くだらない世界に懲りたんだ 狂いかけた世界に疲れたんだ
猫になれたらいいのにな 犬になれたらいいのにな

日々、『人間』という仕事に疲れた僕達は
誰もが口を揃えて、こう言うんだ

「死にたい……」

さりげない幸せに苦しんだ 何気ない優しさに頼ってた
人じゃなければよかったな 人じゃなければよかったな

日々、『人間』という仕事に疲れた僕達は
綺麗な星空を見て、こう言うんだ

「死にたい……」

彼女に貰った窓辺の花は気付けば枯れて死んでいた
学校に迷い込んだ一羽の鳥は子供の好奇心に殺された
『クロ』と親しまれた黒い野良猫は公園の脇で潰れてた
十年も大事に飼った犬は最後の言葉も無しに死んでいた

日々、『人間』という仕事に疲れた僕達は
誰もが口を揃えて、こう言うんだ

「死にたい……」

生命の不平等を知りながら
疲れた僕達は、こう言うんだ

「死にたい……」

Dead Girlfriend

「愛して……」だとか、なんとか言っちゃってさ
本当の愛を知らない女子高生
君達が見ている恋愛とは、気持ちの触れ合いだろ？
何万通のメールで愛を語んじゃねえよ

本当に僕を愛してるなら
永遠の愛を掴みにさ
赤い糸を結んで、二人逝こう

「くだらねえ」とか戯言言いやがってさ
馬鹿にしか出来ない単細胞な男子学生
君達が見てる世界なんて、米粒にも満たねえ
女の子とのメールが全てじゃねえよ

本当の世界を見てみたいなら
閉じたままの瞼開け
希望と絶望の闇、これが世界だ

ただの八つ当たりだって知ってんだけど
案外、ハズレって訳でもないだろ？
『人それぞれ』なんて分かってんだけど
とりあえず、世界を甘く見るな

彼氏と手を繋ぐ女子高生
それが羨ましいんだよ、僕の彼女は死んだんだ
世界を見ずに騒ぐ男子学生
それが羨ましいんだよ、僕の世界は死んだんだ

僕の彼女は死んだんだ
僕の世界は死んだんだ

部屋のドアを叩いたら

大好きだった恋人にフラれたんだ……。
仲良しだった友達に嫌われたんだ……。
そのドアを叩いたら、いこう
僕を裏切り続ける世界に飽きたんだ

大切に守っていた想いは消えたんだ……。
見ない振りした不安は溜めてたんだ……。
そのドアを叩いたら、いこう
僕を苦しませる世界に疲れたんだ

飽きたんだ
疲れたんだよ

引きこもり、そのドアを叩いたら
信用も苦しみも消え去るのでしょうか
でも、この部屋のドアを叩いたら
世界へと繋がる、生命が待ってたんだよ……。

『世界』が僕の『世界』を無視し続けてる事が気に入らない
僕だって少しは努力してて、夢の一つも持つてるのに

『世界』は僕を見てみぬ振り
『世界』は僕を嫌っている

だから、僕の『世界』は四畳半にまで小さくなった
だから、僕の『世界』は膝を抱える程小さくなった

そのドアを叩いたら、全てを亡くしてしまえるよ
このドアを叩いたら、全てを受け止めて生きるよ

引きこもり、心はいつだって
引きこもり、そのドアを叩くなら

部屋のドアを叩いてみて
世界へと繋がる、生命が待ってるから

飽きていても
疲れたとしても

平和戦争

虫達が暮らす世界の中には『平和』は存在しない
花達が暮らす世界の中には『平和』は存在しない

だけどこの世の中に『平和』という言葉は存在している
だからこの世の中に『戦争』という言葉が存在している

僕等の世界の『平和』とはなんだ？
僕等の世界の『戦争』とはなんだ？

鳥達が暮らす世界の中には『平和』は存在しない
動物が暮らす世界の中には『平和』は存在しない

僕等が暮らす世界の中には『平和』は存在しない
生物が暮らす世界の中には『平和』は存在しない

『平和』という言葉を生んで、殺していくのは誰だろ？
『戦争』という言葉を生んで、生きていくのは誰だろ？

A song of the insects which you
killed.
A song of the animals which you
killed.
A song of the flowers which you
killed.
Did you listen to a love song
to sound all over the world?

（貴方が殺した虫達の唄。貴方が殺した動物達の唄。

貴方が殺した花達の唄。世界中に響くラブソングを聴いたか？）

悪いのは僕等なのだから生物達が『戦争』を起こせばいい
人類が滅ぶ瞬間に『平和』は姿を現すらしい

そんな世界の中でしょ？

僕等の世界の中でしょ？

ハローグッバイデイズ

「ハロー。ねえ、聞こえてますか？ 世界の終わりを迎える君達」

くだらない現代を乗り越える術を持ち合わせると願おう

「ハロー。さあ、出掛けましょう。世界の終わりを探す生物達」

無差別に殺される生き物は僕等人類を恐れて生きています

手首切って見上げる星空

素敵な明日に出会えるように……。

ハローグッバイ 世界の人達

僕等は平和を唱えましょう

ハローグッバイ 世界の生物

僕等は仲良く暮らしましょう

「ハロー。聞こえてますか？ 世界の終わりを望む君達」

鳥の悲鳴も聞き慣れて、生命を食べて生きる人類よ

「ハロー。さあ、出掛けましょう。世界の終わりを夢見る人達」

虫を殺すのにも慣れた、僕等人類が向かうのは天国じゃない

今夜も命を食べて眠るだけ

素敵な未来に出会えるように……。

ハローグッバイ 世界の人達

僕等は平和を唱えましょう

ハローグッバイ 世界の生物

僕等は仲良く暮らしましょう

人類が巻き起こす『生活』という『戦争』だ

犠牲者は誰だろう？ 森の中から悲鳴が聞こえる
人類が巻き起こす『生活』という『戦争』だ
犠牲者は誰だろう？ 青い地球が悲鳴を上げてる

ハローグッバイ 世界の人達

僕等は平和を唱えましょう

ハローグッバイ 世界の生物

僕等は仲良く暮らしましょう

ハローグッバイ 生物を殺す『戦争』の日々
ハローグッバイ 人類を殺す『戦争』の日々

最後の命

部屋が光る春の日々、桜の協奏曲

心臓の悪い少年は花びらと共に散っていく

黄色い月が笑う夜、星空の鎮魂歌

精神が弱い少女は流れ星と共に消えていく

眠れない夜に願う事

毛布の中、命の最後を見つめる

『終わる』事が分かつてるから
それがどうしても怖いんだ

ボロい病院の一室、点滴のメトロノーム
明日を夢見る彼女は幻となって夢に出る

眠れない夜に願う事

暗闇の中、命の最後を見つめる

『終わる』事が分かつてるから
人は『死』を考え朝を見る

The end of World.

We stop breathing and wait.

When life is over, I will feel
nothing.

Because I looked forward to
the end."

(世界の終わり。僕等は息を止め待つ。

命が終わる時、僕は何も感じないだろう。
だって『終わり』を待ち望んでいたから。
)

眠れない夜に願う事

手首にナイフ、命の最後を見つめる

『終わり』が分かってるのに

何で、僕等は『死』を求めるの……。

命の最後に願う事

『もう一度生きたい』でも『ありがとう』でもない

ただ何も感じない神経への鎮魂歌

『終わり』は分かっているのだから、それが怖い

記念碑に偽物の花束を

何十年も前に戦死した女の子達

彼女達の為に造られた記念碑に花束を捧げる

嘘泣きにも慣れた僕達だから

偽物の花束を彼女達に捧げよう

何時間か前に病死した子供の親

幻になった命を悔やんで涙を流すよ

気持ちの切り替えは早い僕達だから

二週間とすれば笑顔で暮らすよ

朝方のニュース、行方不明の女子高生

もう一ヶ月も経ってんだから

きっと死んでるんだろ……。

命の儚さを知っていくのに 命の尊さには鈍感な僕達だ

テレビ出演が夢だったんだろ 叶えたんだからいいじゃないか……。

五分後の僕はずっと死に近付いただろ

三日後の僕はそっと死に手を掛けただろ

終わる事を知ってる僕達だから

頑張れる分、とても怖いんだ……。

夕方のニュース、バラバラ遺体の女子高生

だから言っただんじやないか

死ぬ事は予想つくんだよ……。

神様に縋るのが僕達の最終手段だ

生命を食べるのが僕達の生活習慣だ

嘘泣きにも慣れた僕達だから

全ての生命に捧げる偽物の花束

命の儚さを知っていくのに 命の尊さには鈍感な僕達だから
用意されたレールを歩く そして死に向かう平凡な人生だ

全ての生命に捧げよう

嘘泣きで贈る偽物の花束を

光の世界

昨日まで可愛い笑顔を見せていた女子高生
翌日、海辺で骨と化して見つかった

我が子が殺された事を知ったお母さん
同日、死刑囚と同じ死に方で亡くなった

僕達が頼る神様は視力が悪いらしい
屋上から舞う少女の姿が見えないのか

『生きている』という事が血を流す度分かる
滲んで見えない景色、それが光の世界

『平和』から逃げて『戦争』を繰り広げる僕等
先日、『世界』はバラバラ遺体で見つかった

僕達が頼る神様はもう死んだらしい
愛情の地雷が敷き詰められた世界だから

『生きている』という事が生命を食べて分かる
手首に包帯巻いた少女、それが光の世界

いつも僕等を騙す『希望』が此処にあるのだから
いつか僕等を励ます『絶望』が底にあるのだろう

いつか終わる『命』を抱える僕等が今
その事実を認めて生命を肯定するラブソング

『平和』という言葉の意味を知らないから
『戦争』という生活の日々を繰り返してる
『生きている』という事実と共に繋がる
『死』を認めて生きる、足掻く姿、それが光の世界

汚れながらも美しい僕等の姿
終わりそうなくらい素晴らしい光の世界

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5684k/>

光の世界

2010年10月10日17時36分発行